

平成31年度入学式式辞

今年の日吉桜は、新入生の皆さんの門出を祝うかのごとく、満開となりました。この満開の桜の下、平成三十一年度京都市立日吉ヶ丘高等学校入学式を挙げるに当たり、京都市教育委員会参与様、同指導主事様、PTA会長様、同窓会長様、教育後援会会長様を始め、多数のご来賓、保護者の皆様方のご臨席を賜り、心からお礼申し上げます。

ただ今、二百四十名の新入生の皆さんの入学を許可しました。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。本校は平成二十六年度より「進学型単位制普通科高校」として生まれ変わりました。全員が大学進学を目指すことを掲げ、日々の教育活動を行っております。皆さんは第六期生となります。今年の三月で第三期生までが卒業しました。先輩たちは、高校生活に意欲的に取り組み、素晴らしい実績を挙げて卒業しました。そして、皆さんは、前期選抜、中期選抜の厳しい倍率の難関を突破されて本校に入学されました。そのことに誇りを持って、この日吉ヶ丘高校で勉学にしっかりと取り組み、自分の可能性を広げていただきたいと思います。

本校は、昭和二十四年に普通科、商業科、美術科を持つ高等学校として創立されました。以来七十年になります。この間、商業科の募集停止、美術工芸科の銅駝への独立移転に伴い、普通科単独校となりました。平成七年度からは専門学科「英語科」を設置し、その後、平成二十一年度に「国際コミュニケーション科」と改編されました。そして平成二十六年度から「進学型単位制普通科高校」となり現在に至っています。このように本校は、その時代のニーズに応えながら改革を進めて参りました。特に専門学科としての「英語科」の設置以降、英語教育に力を入れ、「グローバル社会の中で「生きる力」を身につける」をコンセプトとして、日々教育活動に取り組んでおります。平成二十八年度からは校内留学施設として「英語村」を開校し、生徒一人一人が英語能力を向上する場を設けました。また、「総合的な学習の時間」の中で産業界、官公庁、地元の方々との連携を深めています。また、国連の「持続可能な開発目標」いわゆるSDG'sにも取り組み、「多面的に考察する力の涵養」に取り組んでいます。

さて、本校は今年度から新しい教育目標を掲げて教育活動に取り組むこととなりました。生徒の皆さんに身につけ、伸ばしてほしい力を大きく三つにしました。

一つ目は「自分を律する」「自律」です。「自己理解を深め、自らの言動に責任を持ち、変化の激しい社会を柔軟かつ主体的に生き抜く力を培う」としました。

二つ目は「ともに働く」「協働」です。「多様な価値観や人権を尊重し、他者との対話を通して社会に貢献していく力を養う」としました。

三つ目は「創り出す」「創造」です。「幅広い知識や教養、論理的思考力を基盤に、探究の意欲を持ち続け、新たな価値を創出する力を育む」としました。

この新しい教育目標をもとに、本校の「育てたい生徒像」として、「世界をつなぐ越境者」英語のサブタイトルとして「Beyond the hill today、beyond yourself tomorrow」としました。「世界をつなぐ越境者」には、「クラス、コース、男女、教科、年次、世代、文化、地域、国家の間など、社会にはさまざまな「境」があり、その境の両側にはそれぞれの価値を持った世界が存在しています。日吉ヶ丘高校の生徒の皆さんには、新しい価値を求め、その「境」を越えていき、「境」の両側の世界をつなぐ架け橋のような存在になってほしい」との願いを込めました。また、英語のサブタイトルの「Beyond the hill today」には、生徒の皆さんが毎日登る「日吉坂」と、人生における困難や課題をその時々を乗り越えていこうという意味を、「beyond yourself tomorrow」には、自らの苦手や課題を克服し、新しい自分を構築していこうとする意味を込めました。

この新しい教育目標と育てたい生徒像を掲げて教育活動を行って参ります。そして、これから高校生活を送る新入生の皆さんにも「世界をつなぐ越境者」となるために二つのお願いがあります。

一つ目は「夢」を持って新たな事に「挑戦」し続けてほしいということです。皆さんがこれから目指す道は、一人一人違うはずです。将来の夢に向かって、信念をもって挑戦し続けてほしいと思います。夢を持てば、目標が生まれます。目標があれば、一日一日が意味あるものとして、精一杯努力することができます。私たち教職員は、皆さんの夢の実現を全力でサポートします。また、自ら動いて事をなす姿勢を常に持ち続けてください。失敗を恐れずに果敢に挑戦することが、これからの社会を生きていくために必要な資質です。これからの社会は答えのない問いにどう取り組むかが求められます。失敗が工夫を生み、その積み重ねが成功を生むのです。精一杯背伸びして、挑戦してください。

二つ目は、これからのグローバル社会を生き抜く「真の国際人」になる教養を身につけることです。本校は英語教育に力を入れていますが、言語はコミュニケーションの手段であります。その言語で何を伝えるのかは、皆さん一人一人の教養であり、感性です。他国の人と交流するとき、日本のことを語れない日本人が多いと言われています。皆さんが住んでいる京都は、日本の伝統や文化をしっかりと受け継いでいる町です。本校の周りにも、東福寺や泉涌寺を始め、素晴らしい名所旧跡があります。京都に住んでいる皆さんは日本の伝統と文化をしっかりと学び、伝えていただきたいと思います。また、日本の科学技術力は世界でもトップクラスであり、先人のたゆまぬ努力で作ってきました。このような日本の優れた伝統・文化・科学技術をしっかりと学び、受け継いで世界に伝えていただきたいと願っています。若い人たちには無限の可能性があります。頑張ってください。

最後になりましたが、高い所からではございますが、保護者の皆様一言ご挨拶申し上げます。本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。高校三年間は、人生の方向を決定する大事な時期です。私たち教職員は、お子様が自ら生きる道を切り拓いていけるよう、全力を尽くして参ります。お子様の健全な成長を望み、豊かな個性を育てていくためには、学校と家庭がそれぞれの役割を果たしながら、相互に補完しあい、連携を密にすることが重要であると存じます。学校の方針をご理解いただき、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新入生二四〇名の皆さんが「夢」を持って「挑戦」し「真の国際人」の教養を持って、「世界をつなぐ越境者」として成長し、新しい「令和」の時代を力強く生きていきますことを、心から期待しまして、式辞といたします。

平成三十一年四月八日
京都市立日吉ヶ丘高等学校長
古池 強志